

学びを広げ、
深める

小学道德 生きる力

『道德ノート』活用のアイデア

豊能町立東ときわ台小学校
龍神美和



本資料は、一般社団法人教科書協会
「教科書発行者行動規範」に則り、
配布を許可されているものです。

日文の実践事例、教科情報

詳しくはWebへ!

日文

検索

未来をになう子どもたちへ
日本文教出版

なぜ、ノート？(ノートの意義)

道徳の授業ではノートを使います。必ず使わなければならないか、といえばそんなことはありませんが、例えば1か月に4回授業があるとして、そのうち1回もノートを使わない、児童がノートに書き込むことがない、ということは考えにくいと思います。

もちろん、「ノートを書く」ということは**授業の目的でもなんでもありません**。書いてばかりの授業では、道徳の授業のねらいにはたどり着けないでしょう。

では、なぜノートを使うのでしょうか？それは、書くことで「思い」や「考え」を**確かめ**、そして、**自分の考えを深め、納得**するためです。**ノートはそのための道具**です。

右の図のようなサイクルを通して、「自分自身がみつけたこと」、「友達とみつけたこと」、「みんなで考えたこと」、「自分が考えたこと」を児童一人ひとりが**確かめて考えを深め、それらを「納得」**できること、それが大切です。

ノートはそのための道具に過ぎませんが、それゆえに道徳授業の「**重要な脇役**」です。



どこで書くか、何を書くか

さきに触れたように、ノートを書くことは目的ではありません。ですから、「**ノートを全部書かせなくてはいけません**」**と思う必要はぜんぜんない**のです。1回の授業の限られた時間の中で、児童がノートに記入するのは**1回か2回で十分**です。3回は難しいのではないのでしょうか。その授業で使わない記入スペースは、空いたままでOKです。メモ欄にしてもよいでしょう。

授業中、ノートに記入するタイミングは、

- ①**友達と話し合ったときに**：話し合ったことを記録したり、考えたことを書きとめたりします。
- ②**中心発問で**：その授業の「ねらい」に関して中心的なことについて考えて書きます。
- ③**授業の最後に**：その授業を通して考えたことについて、あるいは今後どうしていきたいかについて記入します。

などが考えられます。その授業のねらいや、クラスの実態・状況に合わせて、この中から1つか2つを選んで活用してみてください。

ノート、こんなふうに使ってよは？

ふつうに記入するのはもちろんですが、いろいろ工夫ができます。たとえば……



使っている先生方から

ここに何を書けばよいが、わかりやすく子どもたちも書きやすいようです。

ワークシートを作る時間を教材研究にあてられます！

みんな同じ形式なので、書いたことをもとにして話がしやすいです。

記入の指示が出しやすく、書いたものも読み取りやすく、助かっています！

学年団で授業イメージを共有しやすくなりました！

実践事例 1 「くりのみ」(小学どうとく 生きる力 2年 p.102~105) B 親切, 思いやり

ねらい うさぎの優しさに触れ、自分のことしか考えられなかったことを後悔するきつねを通して、困っている人を温かい心でいたわり、互いに助け合っていこうとする心情を育てる。

	児童の学習活動	主な発問と予想される児童の発言	指導上の留意点（○）準備物（●） 期待する児童の学習（＊）
導入	(1) 自分の経験を思い起こし発表する。	○涙が出るときって、どんなときでしょう。 ・お母さんや先生に怒られたとき。 ・友達とけんかしたとき。 ・うまくできなくて悔しかったとき。 ・うれしかったとき。	○涙が出るのは気持ちが高まったときであることに気づかせ、ねらいとする価値について考える一助とする。
展開	(2) 教材「くりのみ」を読んで考え、話し合う。	①どんな気持ちや考えから、きつねはどんぐりを隠し、うさぎにうそをついたのでしょうか。 ・僕が見つけたんだから、全部僕のものだ。 ・これでもうおなかをすかせないぞ。 ・うさぎさんにあげるのは嫌だから、見つからなかったって言おう。 ②うさぎは、どんな気持ちできつねに栗の実を差し出したのでしょうか。 ・2つしか見つからなかったから、1つあげたら1つしか残らない。どうしよう。 ・きつねさんは1つも見つからなかったからかわいそう。1つあげよう。 ・こんなしなびた栗だけど、いいかな。 ・2つあってよかった。1つあげられる。 ③きつねは、どうして涙を流したのでしょうか。 ・僕は自分のことしか考えていなかったな。 ・うさぎさん、ありがとう。 ・どんぐりを隠したり、うそをついたりしないでうさぎさんにもあげればよかった。 ・うさぎさんだっておなかをすかせているのに、僕にくれるなんて。	○見つけたどんぐりを隠したときや、うさぎに嘘をついたときの気持ちを考えさせることで、自分のことしか考えていないきつねに自我関与させる。 ○うさぎにとっては、ようやく見つけた栗の実であったことを押さえ、それでも1つあげることを決意したときの気持ちを考えることで、相手のことを考えた温かい心の尊さに気づかせたい。 ○自分のことばかり考えていたことに気がついたきつねが、自分の行動を後悔して恥じる気持ちと、うさぎの親切的な行為に感謝し、感謝する気持ちに自我関与させる。 ○道徳ノートに書かせる。 ＊きつねの思いを自分のこととして考える。 ●うさぎときつねの気持ちを深めたあとに、うさぎときつねのやりとりを役割演技する。
	(3) 相手のことを考えた親切について自分を振り返る。	○うさぎのように、誰かのために何かをしたことがありますか。 ・自分の大好きなケーキだったけど、妹に半分、分けてあげた。 ・お友達が転んでしまって、「大丈夫？」と声を掛けて保健室に連れて行ってあげた。 ・自分が読みたい本を借りようとしたら、お友達も読みたがっていたので、先に譲ってあげた。	○親切にした行為だけでなく、そのときの心情も振り返るようにする。 ○自分もたいへんだったけど、相手のことを考えて行動できたことを思い起こさせる。または、親切にされてうれしかったことを記述し発表させる。 ○道徳ノートに書かせる。 ＊親切的な行為の難しさや、温かい心で互いに助け合っていくことのよさに気づかせる。
終末	(4) 本時の学習を振り返りまとめる。	○教師が日頃の児童の様子から紹介する。	○親切にできた経験だけではなく、親切にしてもらってうれしかったことや、親切にしようとしてできなかったことについても触れ、親切的な行為の難しさや尊さに気づかせたい。 ○実際にクラスで見つけた親切的な行為を紹介し、褒めることで実践へと意欲づける。

授業準備の留意点

終末場面のエピソードをみつけておきましょう。その際、親切にしていたという片側のエピソードではなく、相手を思いやり親切にした側と、それを受けた側との関わり合いがあるものを子どもたちに伝えたいと思います。親切が相手を喜ばせていたり、笑顔にしていたり、元気づけていたりする場面を見つけることができます。

授業中のポイント

☆子どもたちは、きつねがうそをついたのがいけない、ということばかりに目が向きがちです。そんなきつねを変えたうさぎがしたこと、しっかりと目を向けさせたいです。
☆うさぎときつねのやりとりの役割演技の際には、前に出て演じている子どもだけではなく、見ている側の子どもたちが、演技から何に気づくかが大切です。友達の演技から気づいたこと、見つけたことをもとに、みんなで話し合っていきたいですね。

ノート記入時のポイント

☆きつねは、どうして涙を流したのでしょうか。
発問だけでは、なかなか書くことができない児童もいます。教師が、うさぎになって、栗を差し出す場面を演じるなどして、子ども達に場面の様子を豊かに捉えさせながら発問したいです。自分で考えさせたあとに、ペアトークなどを行い、自分だけでは書くことができなかった場合も、友達と相談して書くことができるようにします。ここでは、必ずしも長い文で書く必要はありません。書いたことは短くても、みんなで話し合う場面で、問い返しながら広げたり深めたりできればよいのです。
☆うさぎのように、誰かのために何かをしたことがありますか。
ぱっとひらめく子となかなか思いつかない子の差が大きくなることが予想されます。早く書き始めている子のものを紹介して、ヒントにしたり、「ない。」といって書くことができない子には、友達の発表でいいなと思ったことを書いたりするように促したりするといいいですね。

授業後の留意点

1, 2年生では、自分の考えをしっかりと言葉にして書くということが難しい子もたくさんいます。道徳ノートの記述だけで評価をするのではなく、授業中の発言や役割演技のときの様子と合わせてみる必要があると考えます。書くことができていなくても授業中に印象的だった児童には、わずかに書いてあることや、授業の様子をきっかけに聞き取りをして、ノートに添え書きをすると、児童自身も理解が深まるだけでなく、教師も活躍していた子だけでなく静かに考えていた児童の考えをしっかりと把握し、評価につなげることができるでしょう。



実践事例 2 「くずれ落ちたダンボール箱」

(小学道徳 生きる力 5年 p.126~129)

B 親切, 思いやり

ねらい

たとえ相手にわかってもらえなくても、相手のことを考えてしたことは親切であることに気づき、思いやりの心をもって親切にしようとする心情を育てる。

	児童の学習活動	主な発問と予想される児童の発言	指導上の留意点（○）準備物（●） 期待する児童の学習（＊）
導入	(1) 親切な行動のも とになる気持ち や思いについて 考える。	○どんな気持ちや思いが、親切な行動につながる のでしょうか。 ・相手を喜ばせたい。 ・困っている人を助けたい。 ・褒められたい。	○親切な行動のもとになる思いを考えさせるこ とで、ねらいとする価値に迫るようにする。
展開	(2) 教材「くずれ落 ちたダンボール 箱」を読んで、 話し合う。	① 2人はどんな気持ちからおばあさんを助けよ うとしたのでしょうか。 ・困っている。 ・誰も手伝っておらず、1人でたいへんそう だから助けてあげようかな。 ・男の子が迷子になってしまいそうで心配。 ② 「こまった子たちね。」と、店員に叱られて 言い返せなかったとき、どう思ったでしょう。 ・何も悪いことはしていないのに。 ・手伝わなければよかった。 ・腹が立つ。 ・事情を知らないのに叱るなんて。 ③ どんな気持ちからおばあさんに「いいえ、い いんです。」と言ったのでしょうか。 ・おばあさんのせいにしたくない。 ・おばあさんにお礼を言われて少し納得した。 ・お礼を言われたくて片付けたのではない。 ④ 「お二人の温かいお気持ちに心打たれた」と いう手紙の言葉を聞き、「わたし」はどんな 思いをもつようになったのでしょうか。 ・わかってもらえてうれしい。 ・進んで親切にすれば誰かが見てくれている のだな。 ・自分たちのしたことは間違っていないかった のだな。	○おばあさんと男の子を心配して助けてあげる ことにした2人の気持ちを考えさせる。 ●挿絵を黒板に貼る。 ○親切な行いが誤解されて嫌な気持ちになった 2人の腹立たしさに気づかせる。 ○2人のとった行動が、親切であったことを捉 えさせる。 ○腹立たしい気持ちがありながらも、親切にし た相手には伝わっているということや、自分 の親切心を信じて行動することの大切さに気 づくようにする。 ○自分のしたことがわかってもらえたうれし さに共感させるとともに、進んで親切にするこ とのすばらしさに気づかせる。 ○道徳ノートに書かせる。 ＊二人の思いやりの心に目を向ける。 ○「もし、店員さんや校長先生にほめられなかつ たとしたら、2人の親切の値打ちは下がるの だろうか。」という補助発問をするなどし、 周囲に誤解されたとしても、おばあさんを思 いやった2人の行為が親切であることに気づ かせたい。
	(3) 「本当の親切」 について考える。	○本当の親切、思いやりとは、どんな心なの でしょう。	●お礼の手紙を黒板に貼る。 ○道徳ノートに書かせる。 ＊周りがどうであれ、相手を思いやった行為が 親切であることに気づく。
	(4) 教師の話を書く。	○教師自身の思いやりのある行動や、親切にさ れた体験を話す。	○余韻をもって終える。

授業準備の留意点

「ねらい」への理解をしっかりと深めておくことが大切です。子どもたちは、まだまだ親切にしたことが人に認められることで満たされがちです。教材から簡単に読み取ることができる「親切に気づいてもらえてよかった。」「親切にすれば誰かが気づいてくれる。」という子どもたちの考えから一歩踏み込んで、相手を思いやり親切にすることは、たとえそれが相手や周りに気づかれなくても親切であり、相手や周り、そして自分自身の心を温かくしていくものであることに気づいていってほしいものです。

そのためには、教師が、「親切、思いやり」についての考え方を豊かにもっておく必要があるでしょう。

授業中のポイント

☆導入での発問は、親切ということに、子どもたちの考えを向けるためのものであるので、ついつい、いろいろと尋ねたくなりますが、深く問う必要はありません。

☆中心発問のあとの補助発問「もし、店員さんや校長先生に褒められなかったとしたら……」のところを活用して、中心発問を深めることで子どもたちは、「親切、思いやり」について新たな気づきをもつことができますと考えます。

ノート記入時のポイント

☆「お二人の温かいお気持ちに心打たれた」という手紙の言葉を聞き、「わたし」はどんな思いをもつようになったのでしょうか。

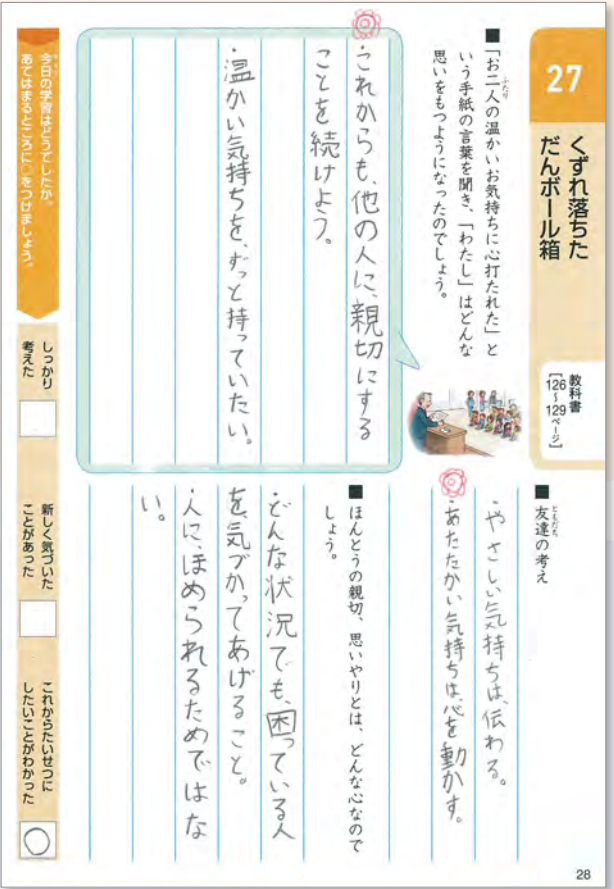
ノートに書かせる前に「温かいお気持ち」とはどういうことなのかの確認が必要でしょう。ただ、ダンボールを片付けただけでは二人の思いやりの心に目を向けさせたいです。

また、たくさんの友達の考えに触れさせ、そこからもう一度考えさせることが大切であると考えます。この場面のノートは箇条書きで十分です。ギャラリーウォーク（友達のノートを見て回る活動）等を取り入れ、「なるほど」と思った友達の考えをノートに書かせて、後から自分が一番「なるほど」と思ったものに印をさせた上で話し合い活動に入っていくことで考えを深めさせます。

授業後の留意点

余韻をもって終わる授業展開になっているので、学習した内容をもっと明確にしたい場合には1学期に学習した同じ内容項目の「やさしいユウちゃん」を読んだり、その時の道徳ノートを振り返ってみたりする活動を授業後に取り入れることもできるでしょう。振り返って気づいたことや考えたことを書かせる中で、自分の考え方の広がりを感じたり学んだことを深めたりすることもできると考えます。また、そのことを評価に生かしてもよいでしょう。

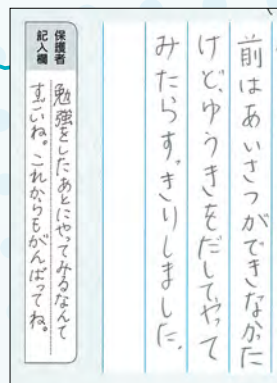
自己評価の欄があることで、子どもたちは自分が何を学ぶことができたかを認識できます。また、教師にとっては、ねらいと合わせてみることで、授業評価にも役立ちます。



授業のあとに……

授業で使用したノートは、回を重ねて蓄積していくことで、

- ★子ども自身が振り返り、成長したことを確認するためのよりどころになります。
- ★保護者に読んでもらうことで、子どもの状況を把握してもらったり、書き込んでもらうことで担任との信頼構築につなげたりすることもできます。
- ★結果として、学期末、学年末の評価の際に重要な資料の一つとなります。



ノートの見取りポイントと道徳の評価

評価の資料の一つとして、ノートから児童の成長を見るときには、次のようなポイントがあります。

1. 記述量：回を重ねるごとに、だんだん書ける量が増えているのではないのでしょうか。そのことを前向きに認め、励ましてあげてください。
2. 多面的・多角的な見方：「最初は〇〇と思っていたけれど、別の登場人物から見れば△△だということに気づいた」など、多面的・多角的な見方に発展しているか。このことは、教師がそのようにサポートできたかどうか、にも関わってきます。
3. 自分自身との関わりの中で深めているか：「昨日の算数の時間に……」、「前にサッカーの試合で負けたとき……」など、自分の経験に照らして考えられているか。
4. 友達の意見：「Aさんの話を聞いて……」など、友達の発言を聞いて、考えを深めようとしているか。

おわりに

道徳が教科化され、評価をすることになってから、ノートは評価の材料としての側面が大きく取り上げられるようになってきたと思います。けれど、本来ノートは、子どもたちが考えるためのツールであり、そして、学んだことを言葉にする場や、友達と学びを共有するためのものであるはずです。そして何より、ノートを振り返るこ

5. 同じ内容項目や関連項目などを結びつけて考えたり、比べて考えたりすることができているか。

このような記述を見つけてあげてください。

とはいえ、書くことが得意な子ばかりではありません。なかなか書けない子、少ししか書けない子には授業後に声をかけ、聞き取り、その子のノートに添え書きをするなどの工夫も必要です。「発言できる子どもばかりではない」、「能動的に聞くことができる子ばかりではない」、「書ける子ばかりではない」、多様な児童がいるということ、そして、授業中の挙手だけ、ノートだけで評価するのではない、ということは常に意識しておきたいです。

道徳の評価で最も大切なことは、よさを認め、伸ばすことです。子どもは、みんな一生懸命ノートを書いています。その中の言葉を拾って「ほめてはげます」ことは、子どもにとって大きな喜び、はげみとなることでしょう。

とで、子ども自身が自分の学びを見つめたり、成長を感じたりすることができるものであると思っています。ノートは、子どもたちの学びと成長に寄り添ってくれるものです。そうあるように、わたしたちが活用していきたいですね。

小学道徳 生きる力

学びを広げ、深める『道徳ノート』活用のアイデア

日文 教授用資料

平成30年(2018年)12月27日発行

編集・発行人 佐々木秀樹

発行所 日本文教出版株式会社

〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5

TEL:06-6692-1261

本資料は平成30年(2018年)度版小学校道徳科内容解説資料として扱われます。本書の無断転載・複製を禁じます。

CD 33436

日本文教出版 株式会社
<http://www.nichibun-g.co.jp/>

大阪本社 〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5
TEL:06-6692-1261 FAX:06-6606-5171

東京本社 〒165-0026 東京都中野区新井1-2-16
TEL:03-3389-4611 FAX:03-3389-4618

九州支社 〒810-0022 福岡市中央区薬院3-11-14
TEL:092-531-7696 FAX:092-521-3938

東海支社 〒461-0004 名古屋市東区葵1-13-18-7F・B
TEL:052-979-7260 FAX:052-979-7261

北海道出張所 〒001-0909 札幌市北区新琴似9-12-1-1
TEL:011-764-1201 FAX:011-764-0690